

# 支持が広がる資料集②

2011年10月

日本共産党宮城県委員会

## 宮城県政は？ マスコミ報道から

被災者が何を求めているのか  
耳を傾けてほしい

「被災地にもっと足を運び、足元を固めて復興に当たってほしい」（佐藤勇栗原市長）



「河北新報」  
10月24日

仮設プレハブ建設丸投げで  
浸水、アリ侵入…

「地域風土を熟知する業者なら、迫る冬を越すための丁寧な防寒対策は織り込み済み。知事は被災者が寒冷地であることを忘れ、地元の技術を軽視した」



「河北新報」  
10月23日

原発事故の対応には物足りない。  
対策に本腰を（丸森町長）

「河北新報」  
10月22日



「『及び腰』『消極的だ』との批判が多いのが、東京電力福島第一原発事故による放射能汚染対策だ」

空港アクセス鉄道85億円支出

県民からも  
「異議あり!」



## 各党は？ マスコミ報道から

自民党  
何していいかわからない  
自民党の県議

「朝日」  
10月22日

「県議は何もしていない」と言われないか  
それはね、都市部。特に仙台市選出の議員は何をして良いかわからないんです。（県連幹事長）



民主党  
論戦回避は  
議会人として失格

「河北新報」  
10月20日

民主党系会派「改革みやぎ」（11人）に、政権党として震災論戦を引っ張ってほしいが、期待外れに終わった。

民主会派、存在感欠く

